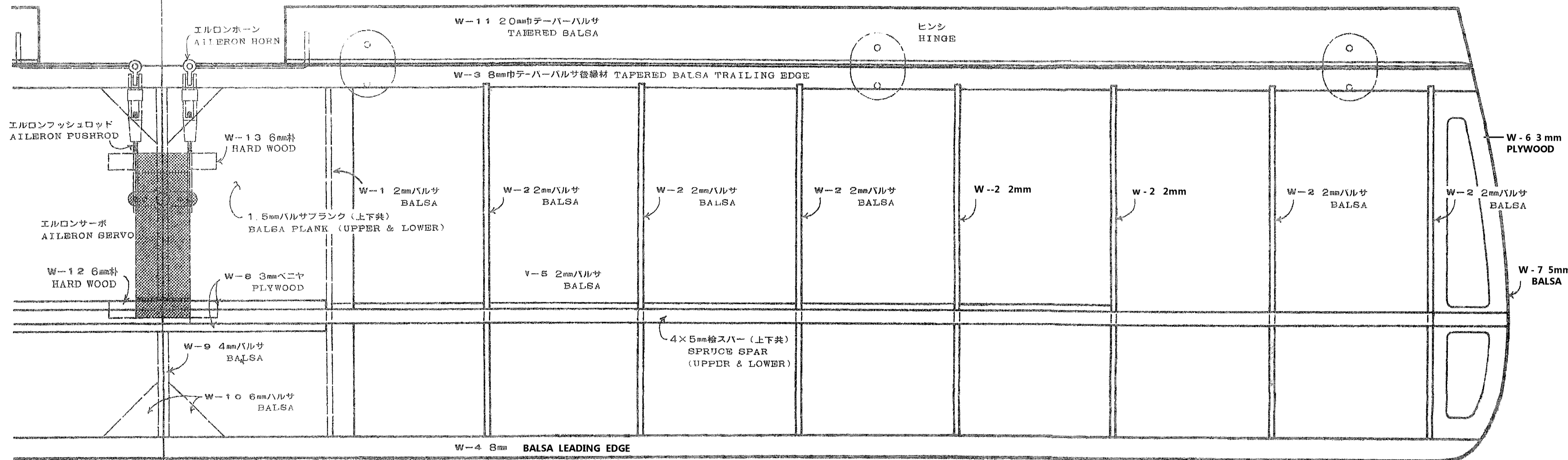
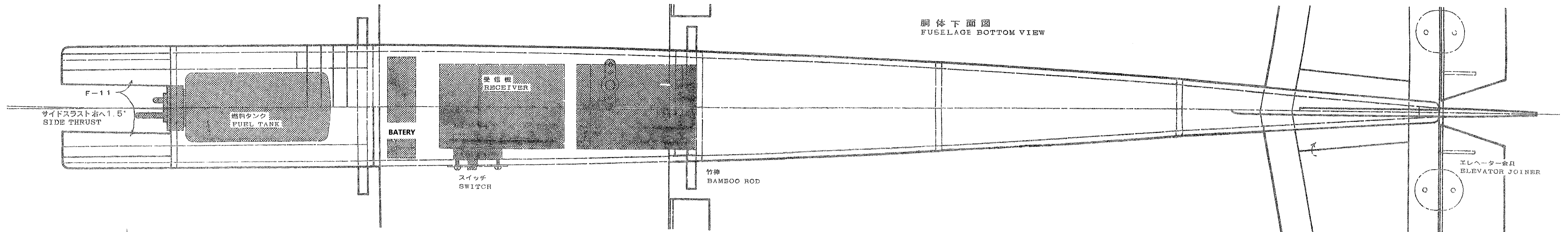
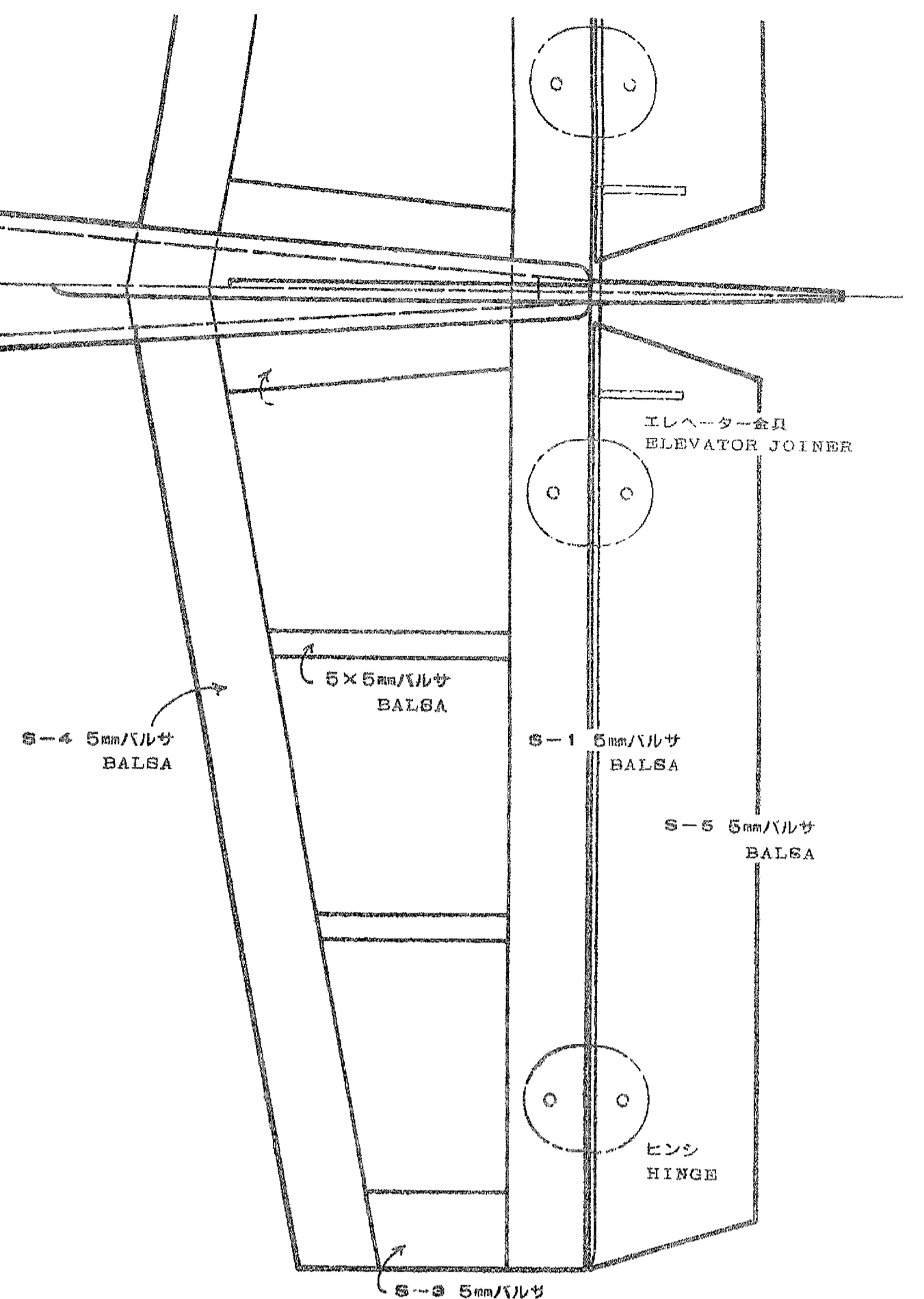


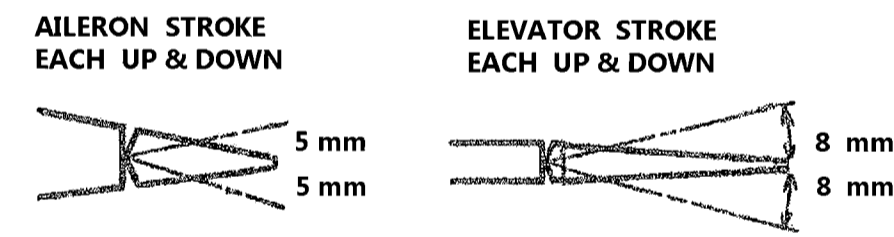
胴体下面図  
FUSELAGE BOTTOM VIEW



WING TOP VIEW

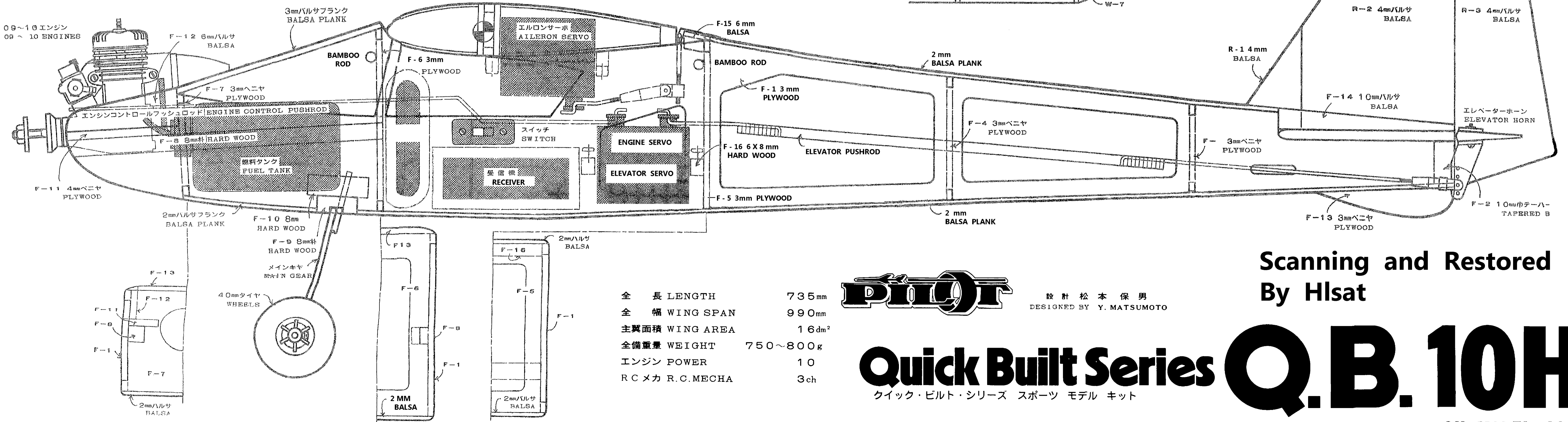


尾翼平面図  
STAB. TOP VIEW



上反角4°  
WING DIHEDRAL ANGLE

重心位置 (前縁より50mm)  
CENTER OF GRAVITY (50mm FROM LEADING EDGE)



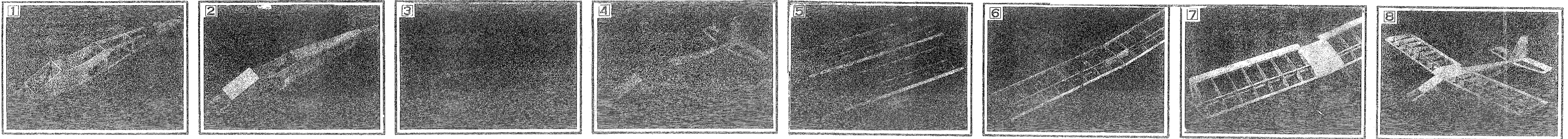
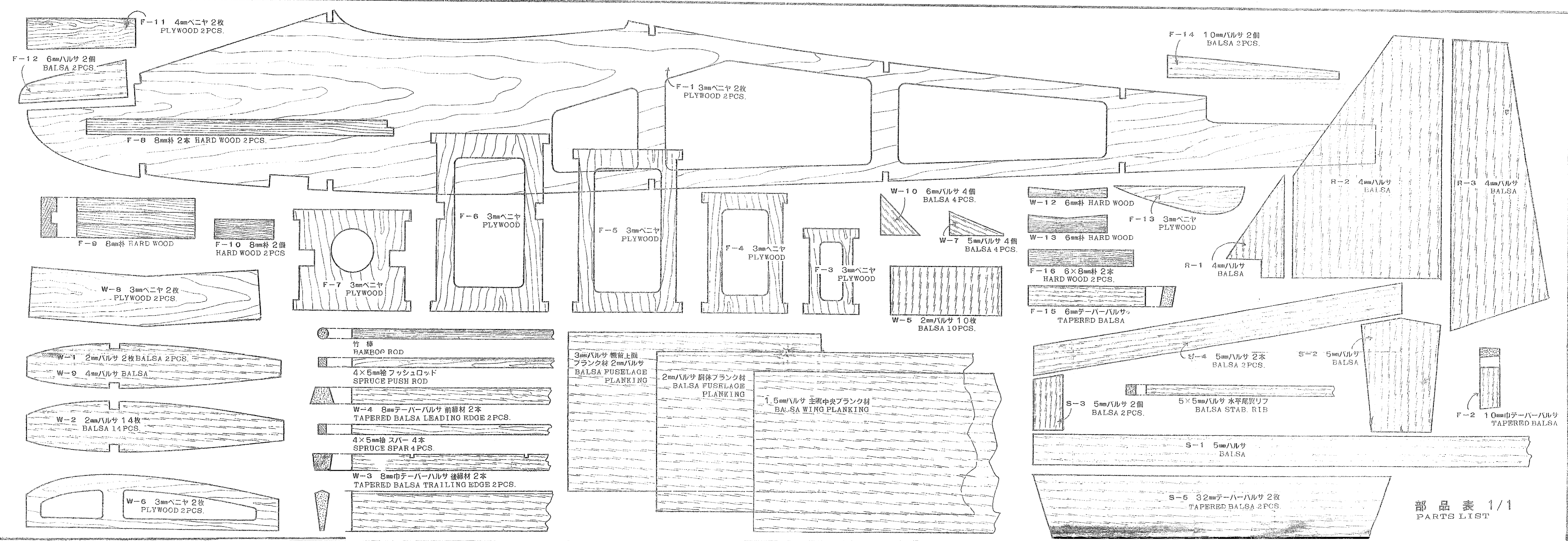
全長 LENGTH	735mm
全幅 WING SPAN	990mm
主翼面積 WING AREA	16dm <sup>2</sup>
全備重量 WEIGHT	750~800g
エンジン POWER	10
R/Cメカ R.C.MECHA	3ch

**PiQT** 設計 松本 保男  
DESIGNED BY Y. MATSUMOTO

Scanning and Restored  
By Hlsat

**Quick Built Series Q.B.10H**

クイック・ビルト・シリーズ スポーツ モデル キット



**製作の前に**  
このクイック・ビルト・シリーズは、組立てやすさと飛ばしやすさをキープに設計されており、それに合わせて軽量且つ丈夫な機体が正確に、しかも早く組立てることができます。  
まず、ダイカットされた各パーツを正しい位置に抜き取り、原寸で書かれている部品表の図面とを対照し、どこに使う部品が確かめ、部品番号を部品表に書いておきます。袋に入っている部品も同じようにチェックしておきます。図面や部品表に書かれている部品番号の【F】と【W】などの記号は機体の部分を表わしているもので、胴体に【F】、主翼に【W】、水平尾翼に【S】、垂直尾翼に【R】で示されています。部品表をよみながら注意して組立ててください。

**尾翼の組立**  
写真-3 水平尾翼(S)と垂直尾翼(R)のつく部品を使って組立てます。水平尾翼は、後縁材S-1の中央にS-2、翼端にS-3を接着し、前縁材S-4を接着します。リブは5×5mmバルサを翼面に合わせて適当な長さで切って接着します。エレベーターは中央をエレベーター金具でつなぎ、ヒンジを使って左右が動かせないように注意して後縁に取付けます。前縁、翼端を丸く削り、サンドペーパーで仕上げてください。  
垂直尾翼はR-1~R-3を接着し、水平尾翼と同じように、整形したあとでサンドペーパーで仕上げます。

**写真-4** エンジンマウントの上に4mmベニヤのマウントF-11をサイドラスト(図面の上面図を参照)に注意して接着し、両サイドに機首ブロックF-12を接着します。胴体の角を断面図のように削り、サンドペーパーで仕上げます。  
尾翼を胴体に接着しますが、取付け位置、角度に十分注意して行なってください。水平尾翼の取付けは、水平尾翼の中央に線を入れ、胴体のセンターにあわせします。前から見て主翼と平行(主翼取付け部にあわせて線をおき、その線と平行になればよい)になるよう正確に接着します。垂直尾翼は水平尾翼に対して直角になるように接着し、両サイドにF-14を接着します。尾ソリF-13はエポキシ系接着剤で接着してください。

**写真-7** 翼端リブの外側に翼端板W-6を接着し、スパ、9位置の上下にW-7を接着して翼端板を補強します。中央の上下を1.5mmバルサで補強してください。エレベーターは、中央のエレベーターホーンを取付け、ヒンジを使って取付けます。  
前縁材を主翼前面図にあわせて丸く削り、全体をサンドペーパーで仕上げます。バルサ・プラックの部分にあまり力を入れてみがかうとくずすので、正しい位置に仕上げてください。

**写真-8** 出来上がった主翼を胴体に仮組みし、尾翼などおぼけていないか調べてみましょう。メインギヤーは、F-9、F-10に3mmの穴を掘り、メインギヤーをさし込んで取付け、小判形のプラスチックパーツでおさえて本ジで止めます。最後に細いサンドペーパーできれいに仕上げてください。  
生地完成まで出来た機体は、紙、または絹を張り、色塗をするのが一般的できれいに仕上げることが出来ますが、きれいに仕上げようと何度も重ねると、どうしても機体が重くなってしまいます。そこでプラスチックフィルム(モノコートやソラールフィルムなど)を張って仕上げます。ただし、バキュームの写真のようにきれいに、しかも軽く、簡単に機体の仕上げができますのでフィルム張り仕上げをおすすめします。

**接着剤の使いわけ**  
ひとりで接着剤といっても、使用する場所や接着する品によって、数種類の接着剤を使い分ける必要があります。普通、バルサなどの接着には、木工用ボンド(ヒメダイン・ボンドなど)を使用します。エンジンマウント、メインギヤー取付け部、主翼中央の接合部などの振動や力がかかる部分の接着にはエポキシ系接着剤(ヒメダイン・ス)などを使い、しっかりと接着してください。又、主翼中央プラックなど、接着面が表面に出る部分の接着はワザンなどのセロテープ系接着剤を使用するとよいでしょう。これは接着剤が表面に出た時、ペーパーで簡単にすりおとすことができ、また、修理も簡単です。ヒメダインなどの修理には、シアノアクリレート系の瞬間接着剤が非常に便利です。

**写真-5** 主翼の組立は【W】の頭文字ではじまる番号がつけられています。主翼はこれらの部品を使って、まず、骨組みを左右別々に作り、それを中央でカンザシを使ってつなぎあわせ、そのあとでプラックする……という順序で作ってください。  
4×5mm材スパと前縁材W-4を翼面に置き、リブの位置をボールペンなどで印を入れます。スパをリブW-1、W-2のミッドに上下より組み込み接着します。ついでに後縁材W-3、前縁材W-4をリブの前後に接着します。主翼の組立では平らな台の上で組立てないように正確に組立ててください。

**写真-6** 左右の主翼を主翼接合用カンザシW-8で両翼を接合します。中央リブW-9は前後にわけて切り出し中央に接着します。次に中央リブの左右、前、後縁材との間に三角形の補強材W-10を両方に接着して補強します。スパ補強材W-5は片翼5枚ずつ上下のスパの間に接着して補強してください。

**写真-9** 胴体の組立は【F】の頭文字ではじまる部品を使います。部品番号は組立順序にあわせてつけてあります。まず、胴体F-1の後縁に10mmテーパードバルサF-2をクランプなどで固定して接着します。ついでに胴体の上下のミッドに胴体F-3~F-7までをいれ込んで接着します。胴体と胴板がぴったりつくよう注意して組立ててください。次にエンジンマウントF-8とメインギヤー取付け台F-9、F-10をエポキシ系接着剤を十分に使ってしっかりと接着してください。

**MAIN WING ASSEMBLY**  
Glue ribs W-1 and W-2 into the notches in the trailing edge W-3 and leading edge W-4 to the front of each rib. Place the 4×5mm spruce spar into the notches in the ribs and then glue each spar webbing W-5 between each rib. Glue W-6 into the outside rib and reinforce it with two W-7s. Join the wing halves together by gluing W-8 and then glue center rib W-9 (divide front and rear before gluing) to the center of wing. Reinforce W-9 with W-10. Cover the center section as shown in the drawing with 1.5mm balsa. Attach the aileron W-11 and aileron horn assembly. Sand the completed wing assembly prior to covering.

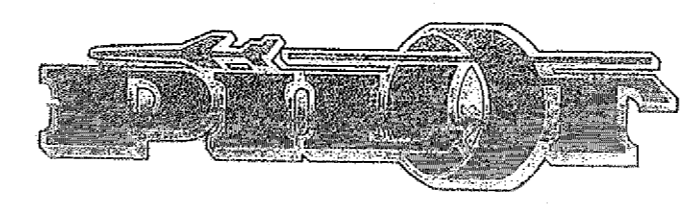
**胴体の組立**  
写真-1 胴体の組立は【F】の頭文字ではじまる部品を使います。部品番号は組立順序にあわせてつけてあります。まず、胴体F-1の後縁に10mmテーパードバルサF-2をクランプなどで固定して接着します。ついでに胴体の上下のミッドに胴体F-3~F-7までをいれ込んで接着します。胴体と胴板がぴったりつくよう注意して組立ててください。次にエンジンマウントF-8とメインギヤー取付け台F-9、F-10をエポキシ系接着剤を十分に使ってしっかりと接着してください。

**主翼の組立**  
写真-5 主翼の組立は【W】の頭文字ではじまる番号がつけられています。主翼はこれらの部品を使って、まず、骨組みを左右別々に作り、それを中央でカンザシを使ってつなぎあわせ、そのあとでプラックする……という順序で作ってください。  
4×5mm材スパと前縁材W-4を翼面に置き、リブの位置をボールペンなどで印を入れます。スパをリブW-1、W-2のミッドに上下より組み込み接着します。ついでに後縁材W-3、前縁材W-4をリブの前後に接着します。主翼の組立では平らな台の上で組立てないように正確に組立ててください。

**FUSELAGE ASSEMBLY**  
Glue F-2 to the end of fuselage sides F-1 as shown. Insert fuselage bulkhead F-3 through F-7 into the appropriate notches and glue in place. Glue engine mounts F-8 in place. Glue 2mm and 3mm balsa sheets to the top and bottom of the fuselage as shown. Glue nose block F-11 and F-12 to the front of bulkhead F-7. Glue tail skid F-13 and F-15 in place. Sand the entire fuselage assembly smooth prior to covering.

**STAB. AND FIN ASSEMBLY**  
Glue S-2 and both S-3 to the S-1 as shown. Glue S-4 to the front of the assembly. Glue the 5×5mm balsa stab ribs between the leading and trailing edge members. Sand entire assembly and elevator S-5 smooth before covering with film. Round the edges of the stabilizer. Glue R-1, R-2 and R-3, and round and smooth the entire rudder with fine sand paper and cover with film as described in section. Glue horizontal stab to the fuselage correctly and then glue vertical stab and root reinforcement F-14 into the place.

**ADJUSTMENT OF THE CENTER OF GRAVITY**  
The center of gravity range should be approximately 30% of the wing cord as measured from the leading edge. If the center of gravity does not fall within 45 to 55 mm from the leading, add weight or shift equipment as necessary to balance within this range. A center of gravity out of these limits could cause your model to be unstable and either difficult or impossible to fly.



**組立説**  
CONSTRUCTION GUIDE

**Quick Built Series**  
クイック・ビルト・シリーズ スポーツ モデル

**Q.B. 10H**  
Scanning and Restored  
By Hlsat